

大湾区情報 No. 55

グレーターベイエリア情報 発行：2023年3月14日



【今号のトピックス】

以下のリンクをクリックすると各記事のトップに移動します。

[【香港「優秀人材パススキーム」の申請者数、1万人突破】](#)

[【中国人民銀行等5部門：証券業金融機関の香港での資金調達許可へ】](#)

[【グレーターベイエリアを起業の「ホットスポット」に！2023 広東・香港・マカオ貿易協力促進交流会香港にて開催】](#)

【香港「優秀人材パススキーム」の申請者数、1万人突破】



香港特別行政区政府労働福祉局（Labour and Welfare Bureau）局長であるクリス・スン（孫玉菡）氏は15日、香港の「優秀人材パススキーム」の申請者が実施7週間で1万人を超え、その申請者のうち半数が30歳以下の若者であることを明らかにしました。

立法会のロビー交流会に出席した後、メディアの取材に応じた孫局長は、スキームへの申請約 8,400 件が処理され、うち約 7,700 件が承認されたと述べました。申請者の大半は若者で、30 歳以下が全体の約半数、約 97%の申請者が 50 歳以下となっています。全応募者のうち半数は世界のトップ 100 大学を卒業し、過去 5 年間に 3 年以上の職務経験を有しています。応募者の 6 分の 1 が年収 250 万香港ドル以上となっています。

2022 年施政報告において、香港政府は人材誘致のための一連の施策を提案しており、その中でも「優秀人材パススキーム」は 2022 年 12 月 28 日に申請受付が開始されました。このスキームは、以下の 3 種類の人材を対象としています。申請前の直近の年間所得が 250 万香港ドル以上の人を対象とした A 類、世界トップ 100 大学を卒業し、申請前 5 年以内に 3 年以上の実務経験を積んだ人を対象とした B 類、世界トップ 100 大学を卒業し、申請前 5 年間の実務経験が 3 年未満の人を対象とした C 類、そして C 類の上限は年間 1 万人までとしています。

【中国人民銀行等 5 部門：証券業金融機関の香港での資金調達許可へ】



中国人民銀行は、中国銀行保険監督管理委員会（China Banking and Insurance Regulatory Commission）、中国証券監督管理委員会（China Securities Regulatory Commission）、国家外国為替管理局（State Administration of Foreign Exchange）および広東省人民政府とともに、金融自由化とイノベーションを促進し、中国本土、香港、マカオの金融協力を深め、協力区の建設を促進すべく「金融支援横琴広東マカオ深化協力区建設のための意見」「金融支援前海深圳香港現代サービス産業協力区の改革・開放全面深化に対する意見」の共同発行を行ないました。

証券業金融機関が香港で直接融資可能に

中国本土の報道によると、証券業金融機関*が香港で直接融資を開始することが許可されるようになります。前海協力区内の証券会社や先物取引会社が海外上場などのクロスボーダー融資を通じて資本金を補充できるようにするため、前海協力区内企業が香港（オープンエンドファンド型企業やリミテッドパートナーシップファンド等）のプラットフォームを利用して資金調達や海外事業を展開することや、不動産投資信託ファンドを利用して優良不動産やインフラプロジェクトの上場や資金調達を行うことを法律に基づいて支援します。また、特定種類のビジネスに関して、今後前海協力区の前物取引会社が海外子会社のためにクロスボ

一ダー担保、信用補完支援、対内・対外融資などを提供することを検討します。また、今回の発表にて、前海協力区のファンド会社が、中国本土と香港の間で上場投資信託（ETF）の相互リンクや公募証券投資ファンドの相互認証に積極的に参加することを支援すると述べられました。

*ここで言う中国の「証券業金融機関」は、証券会社、証券投資ファンド管理会社、先物取引会社及び投資コンサルティング会社を指します。

香港の金融機関を対象に銀行業、証券業、保険業の業務開放を拡大

香港を中心とした中国本土以外の金融機関が前海協力区に商業銀行、金融管理子会社、消費者金融会社、年金管理会社を設立することが認められるようになります。これにより香港の適格銀行が前海協力区に支店を設立し、中国本土でのビジネスを展開することが可能になります。また、中国本土以外の金融機関が前海協力区に証券会社、公募ファンド会社、先物取引会社、ファンド販売会社、生命保険会社、損害保険会社、保険持株会社など様々な金融関連会社を設立することも可能となるなど、金融業界における業務開放が拡大されることが述べられています。

【グレーターベイエリアを起業の「ホットスポット」に！2023 広東・香港・マカオ貿易協力促進交流会香港にて開催】



2月15日、香港で「2023 広東・香港・マカオ貿易促進協力交流会」が開催されました。「広東・香港・マカオの商工業の力を結集し、大湾区の高品質な発展を支援」をテーマに、広東・香港・マカオの関連政府部門、主要商工会、商工業界企業の代表者など230人近くが参加しました。

「大湾区発展計画大綱」の公布と実施以来、香港・珠海・マカオ大橋（「港珠澳大橋」）や広州・深圳・香港高速鉄道などのランドマークプロジェクトが完工、開通、大湾区国際科学技術イノベーションセンターの建設が加速、深圳の先行モデル地区としての実証と先導の役割が完全に発揮され、また、横琴広東・マカオ深化協力区や前海深圳・香港現代サービス産業協力区の建設が徐々に佳境に入り、南沙においては、広東、香港、マカオとの包括的な協力関係を深める上で、良いスタートを切ることができました」、「大湾区の建設は、世界から注目される多くの重要な成果を上げています。特に過去1年においては、広東省、香

港、マカオが初めて共同で「大湾区世界投資促進会議」を開催、853の協力プロジェクト、2兆5千億人民元の投資総額に達しました。「南沙計画」の発表、15%の優遇税率の実施、人民元のクロスボーダー利用の拡大、横琴、前海、南沙の3大プラットフォームの推進など、それぞれが強みを持ち、互いに補完し合っています」と中国国際貿易促進委員会広東省委員会（以下、「広東省委員会」）の范新林副会長は挨拶の中で語りました。

范新林氏はまた「共同でのハイレベルな国際投資促進・宣伝」「共同での大湾区起業・イノベーションの「ホットスポット」育成」「共同での『一带一路』建設支援地域構築支援」「共同での貿易・投資促進関連サービスの継続的な最適化」という4つの構想を打ち出し、「広東省・香港・マカオの経済貿易団体と関係者がさらに協力を強化し、交流を深め、相乗効果を生み出し、共同で各種サービスの革新、企業のビジネスチャンスの開拓と発展獲得への支援、貿易・投資の円滑化を継続推進、高品質の発展をサポートし、大湾区の近代化プロセスにおける良いスタートが切れるよう共に働きかけていきましょう」と述べました。

広東省・香港・マカオ貿易促進協力交流会議のプラットフォームを利用し、広州市貿易促進委員会の楊勇主任、深圳市貿易促進委員会の顧東忠主任、珠海市貿易促進委員会の黄南蔭会長、汕頭市貿易促進委員会の程曉群会長がそれぞれの都市のビジネス環境についてプレゼンテーションを行い、各地の産業発展や対外貿易・経済協力分野における最新の政策プランとビジネス協力のチャンスについてプロモーションしました。

また、この交流会において、鴻泰航運（HONGTAI SHIPPING）と東日物流（ESA Logistics）の協力プロジェクト、惠州市惠陽区大象智能製造産業園プロジェクト、裕光智慧科学技術産業園プロジェクト、大湾区中亜一号プロジェクト、華海金融イノベーションセンター・プロジェクト、「湾区通」ワンストップサービスプラットフォームプロジェクトなどの物流、AI製造、新エネルギー自動車、都市サービスの分野での多くの企業の協力意向も示されました。

【参考資料】

- ・ [香港「優秀人材パススキーム」の申請者数、1万人突破](#)
- ・ [中国人民銀行等5部門：証券業金融機関の香港での資金調達許可へ](#)
(香港経済日報 2月23日)
- ・ [【グレーターベイエリアを起業の「ホットスポット」に！2023 広東・香港・マカオ貿易協力促進交流会香港にて開催】](#)

青葉【WeChat 公式】のフォローをご希望の方は、
右記の QR コードから登録をよろしく願いいたします。
(WeChat アプリにて、QR コードをスキャンしてください。)

[大湾区ニュースレター特集ページへのリンク](#)

また「大湾区情報」だけでなく、中国、香港のニュースや最新制度情報も WeChat の公式アカウントに掲載しています。



=====

[最新ニュースページ](#)で過去に発行したニュースレター、及び香港・中国本土最新ニュースをご覧になれます。

ホームページと共に、SNS でも随時情報を発信してまいりますので、是非ともフォロー、いいね！をお願いいたします。



質問等お問合せ先

青葉監査法人・青葉ビジネスコンサルティング・青葉法律事務所

担当: 新井 茂 <s.arai@aoba.com.hk>

=====